

審議した主な議案

平成20年度一般会計補正予算(第6回)

平成20年度一般会計補正予算(第6回)は、11月27日の本会議において予算特別委員会に付託し、12月10日の委員会で審査しました。

歳入歳出予算の補正として、歳入歳出の総額に、それぞれ2億363万6千円を追加し、総額を380億4千435万円とするものとし、地方債の補正として、都市計画道路3・4・12号線整備事業起債額を1億4千470万円から2億910万円とするものです。

また、債務負担行為の補正として、(仮称)市民交流センター取得による支出予定期間を平成20年度、21年度としていましたが、平成20年度、22年度に変更するものです。

その他の補正の主な内容は、障害者自立支援法の新体系事業移行に伴う知的障害者更生援護に要する経費6千349万円、まちづくり基本構想に伴うたまむし学童保育所のバリアフリー化増築工事費47万5千円、みどり東京・温暖化防止プロジェクトの取組として中町二丁目第3児童遊園の掘り抜き井戸に手押しポンプを設置する費用100万円などです。

12月18日の本会議では、採決の結果、起立多数により原案のとおり可決しました。

反対討論(要旨)

板倉真也(日本共産党)

第一の理由は、雇用不安や中小零細業者の営業危機がいわれているにもかかわらず、市民生活支援の緊急対策経費が、今議会でわずかに200万円しか組まれていないこと。

第二の理由は、市民交流センターの予算を2010年度まで保障する措置がとられていないこと。市税収入が今後、さらに減ることが避けられず、莫大な財源を使う市民交流センター建設に、市民の税金を使つていく場合ではない。よつて反対する。

賛成討論(要旨)

遠藤百合子(自由民主党)

市制施行50周年記念事業でのイメージキャラクターである「こきんちゃん」のカレンダー、ココバス用中づりポスターが作成されること。知的障害者更生援護で、市の単独事業による家賃補助を上乗せすること。

たまむし学童保育所増築工事のトイレ整備でバリアフリーの充実が図られること。環境対策の一環で、中町二丁目第3児童遊園の井戸に手押しポンプが設置されること。以上により賛成とする。

今回の改正内容は、少子化及び子育て支援対策の一環として、国民健康保険に加入している世帯の出産費用の負担を軽減するため、出産育児一時金を40万円から43万円に引き上げるものです。

なお、出産育児一時金の引上げは、国民健康保険加入者で、出産日が1月1日以降の方から適用されます。

12月18日の本会議では、起立採決の結果、起立全員により原案のとおり可決しました。

漢人明子(みどりの風)

本条例は出産一時金を増額するものだが、背景にある産科医療減少対策として急遽1月に施行されることとなった産科医療補償制度は問題が多い。検討段階での国会審議や公開の議論がなく、分娩による重度脳性マヒのみを対象とするため差別的助長になりかねない。60億円と試算される余剰金の行方も不明朗である。

産科医療への不安の解消のための医療改革が必要であり、産科医療保障制度の早急な改善を国に求めるべきである。

小口事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例

原油高騰による原材料の値上げや、社会的な金融不安が深刻化を増し、特に年末年始

における商工業者の資金繰りの大変さが懸念されています。この条例は、商工業者の経営を安定化させるための支援策として、運転資金と緊急資金の借入れに係る保証料の市助成を2分の1から全額に改正するものです。助成期間は、年末年始の資金需要に対応するため、平成20年12月1日から平成21年3月31日までとなります。

11月27日の本会議では、採決の結果、原案のとおり可決しました。

なお、この改正に伴う予算が、平成20年度一般会計補正予算(第5回)として提出されており、11月27日の本会議で、採決の結果、原案のとおり可決しました。

教育委員会委員の任命について

11月27日の本会議において、鮎川志津子氏を教育委員会委員として任命することに同意しました。

選挙管理委員・選挙管理委員補充員を選挙

選挙管理委員4名及び選挙管理委員補充員の選挙を12月18日に行い、福島アイ子氏、林茂夫氏、市間博氏、岩田意積氏が当選されました。

また、同補充員については、第1順位として池田祥子氏、第2順位として尾島勉氏、第3順位として鈴木一美氏、第4順位として小沼廣和氏が当選されました。

日曜議会を開催

平日には仕事等で傍聴ができない方のため、11月30日に日曜議会を開催し、22人の議員が一般質問を行いました。

議会だより集録版をホームページに掲載

市議会では、市制施行50周年を記念して、昭和63年11月から平成20年8月までに発行された議会だよりを1冊にまとめた「小金井市議会だより集録版」を発行しました。

このたび、小金井市議会のホームページにも掲載しましたので、議会の歩みを知る資料としてご利用ください。

平成20年度一般会計補正予算(第7回)は、12月16日の本会議において予算特別委員会に付託し、同日の委員会で審査しました。

補正の主な内容は、後期高齢者医療特別会計補正予算において、一般会計予算からの健康診査費繰出金を財源とし

平成20年度一般会計補正予算(第7回)



教育委員会委員
鮎川志津子氏

平成20年度一般会計補正予算(第7回)

平成20年度一般会計補正予算(第7回)

平成20年度一般会計補正予算(第7回)

平成20年度一般会計補正予算(第7回)

議案の審議結果(その1)	付託先	賛成 × 反対 △ 退席						議決結果
		会派名(人数) 議長は除く						
		自由民主(5)	みどりの風(5)	公明党(4)	日本共産党(4)	小金井民主党(3)	改革連合(1)	
平成20年度小金井市一般会計補正予算(第5回)	即							原案可決
平成20年度小金井市一般会計補正予算(第6回)	予		×		×			原案可決
小金井市市税条例	総							原案可決
小金井市都市計画税条例	総							原案可決
小金井市国民健康保険税条例	厚							原案可決
小金井市国民健康保険条例の一部を改正する条例	厚							原案可決
小金井市小口事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例(条例改正に伴う文言整理)	総							原案可決
小金井市小口事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例(保証料の全額負担)	即							原案可決

議案の審議結果(その1)

付託先略称 即：委員会付託を省略し本会議で採決 総：総務企画委員会
厚：厚生文教委員会 予：予算特別委員会